

CDP気候変動2021 回答に向けて（詳細版）

C7 排出量内訳
C8 エネルギー

2021ウェビナー
CDP事務局

本ウェビナーについて



- ▼ CDP回答ガイダンス、スコアリング基準、スコアリングイントロダクション等の内容に沿って説明しています。これらの情報は、ウェブサイトに掲載しています。
- ▼ スコアリングの詳細についてもご紹介していますが、スコアリングの基本については、スコアリングイントロダクションの文書やウェビナーをまずご覧ください。
- ▼ 本ウェビナーの内容、CDPウェブサイトに記載している日本語版の内容は、CDP日本事務局が、日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくは英語版をご参照ください。

CDP気候変動質問書および回答ガイダンス2021 ([リンク](#))

CDP気候変動質問書スコアリング基準2021 ([リンク](#))

※右上の「言語/language」ボタンより言語を変更いただけます。

回答の際の注意点



- ▼ スコアリングは、回答欄に記載された内容にのみ基づいて実施されます。
⇒外部URLの参照、資料の添付（一部質問を除く）、他の回答欄を参照しなければならない回答等はスコアリングには反映されません。

NG回答例

- 「当社のリスク管理活動の詳細については、ウェブサイト（<http://www ~~~>）をご覧ください」
- 「詳細は質問〇〇への回答内容を参照のこと」

- ▼ 無回答欄が多い場合はスコアが低くなってしまいます。
 - **Please explain（説明してください）**や**Description（～の説明）**は必ず記入してください。
 - 数値記入欄において、空欄とゼロを回答することは意味が異なります。不明な場合は空欄のままで、把握していてゼロの場合はゼロと記入してください。
- ▼ 下位レベルで一定のスコアを満たしていないと、上位レベルのスコアが0になる質問があります。
- ▼ 回答は提出時の御社の状況ではなく、C0.2の報告年の時点でどうであったかでご記載ください。自社にとって重要な意思決定や取り組み事例について、報告年よりも以前のことであっても、報告年の戦略や方針に関係のあるものであればご記載いただけます。その際、その報告年以前の取組の結果、報告年時点ではどのような状況になっているのかの進捗もご記載いただくことでよりよい情報開示となります。

回答の際の注意点

(文章記述欄：自社固有／ケーススタディ／事例)



▼ 自社固有の (Company-specific) 回答が求められる場合

同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、環境問題の自社にとっての具体的影響、定量的なデータ、自社の具体的な（いつ、どこで、どれくらいの規模で）取り組み、固有の製品／サービス等について、**自社のみに当てはまる内容**を記述してください。自社固有の説明は、一般論として回答しているのではなく、回答企業が環境関連の問題を自社のビジネスの文脈の中で十分に検討していることや、実際にアクションを起こしていることを示すために有用です。

▼ ケーススタディ (Case study) の記載

回答を裏付けるための具体的なケーススタディを提供することでポイントが与えられる質問があります。ケーススタディを記述する際には、以下に挙げる「**Situation-Task-Action-Result (STAR)**」アプローチに沿った記載を含めてください。

- 1) 状況 (**Situation**) : 現状や背景はどのようなものか
- 2) 課題 (**Task**) : 何をしなければならないのか／解決すべき課題は何か
- 3) 行動 (**Action**) : 実施した一連の行動はどのようなものか
- 4) 結果 (**Result**) : 行動した結果、最終的にどのような成果が得られたか

ケーススタディの中には、**できるだけ多くの自社に固有の (Company-specific) 情報、具体的な時間(いつ)と場所の情報(どこで)**を含めてください。

▼ 事例 (Example) の記載

上記の**STAR**アプローチに沿った記述は必要ありません。ケーススタディよりも簡潔に記載でき、いくつか自社固有の情報が含まれていれば望ましいと言えます。

セクター別質問書



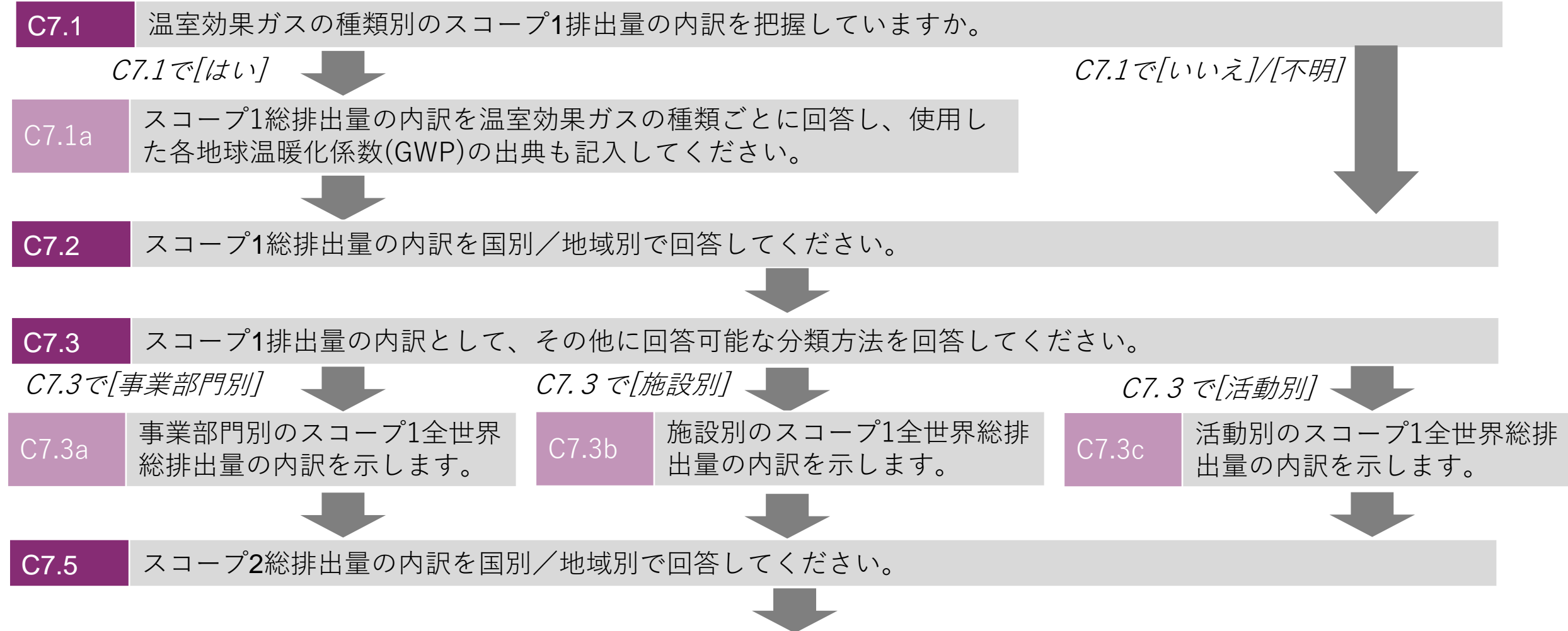
- ▼ 気候変動、水セキュリティ、森林減少といった環境問題の影響が大きいセクターに該当する企業にはセクター別の質問が設定されています。セクター別の質問は、質問番号に各セクターを示すアルファベットが付記されています。
- ▼ セクター別のスコアリング基準が設定されており、セクターの特徴に沿ったスコアリングが実施されます。
- ▼ どのセクター別質問に該当するかは、企業がどのセクター（**CDP**のセクター分類に基づく）に属しているかによって決まります。（該当するセクター別質問は、各プログラム共通です。）
- ▼ セクター別質問に該当しない場合、[一般]セクター質問書に回答いただきます。

農業	エネルギー	金融	素材	輸送
<ul style="list-style-type: none">農産品(AC)食料・飲料・タバコ(FB)製紙・林業(PF)	<ul style="list-style-type: none">石炭(CO)電力(EU)石油・ガス(OG)	<ul style="list-style-type: none">金融サービス(FS)	<ul style="list-style-type: none">セメント(CE)資本財(CG)化学(CH)建設(CN)金属・鉱業(MM)不動産(RE)鉄鋼(ST)	<ul style="list-style-type: none">輸送サービス(TS)輸送機器製造(TO)

注：本ウェビナーではセクター別質問の詳細については割愛しています。

ウェブサイト上の回答ガイダンスやスコアリング基準のページからセクター固有の情報をご確認ください。

C7 排出量内訳／Emissions breakdown



C7 排出量内訳／Emissions breakdown

C7.6 スコープ2排出量の内訳として、その他に回答可能な分類方法を回答してください。

C7.6で[事業部門別]

C7.6a 事業部門別のスコープ2全世界総排出量の内訳を示します。

C7.6で[施設別]

C7.6b 施設別のスコープ2全世界総排出量の内訳を示します。

C7.6で[活動別]

C7.6c 活動別のスコープ2全世界総排出量の内訳を示します。

C7.9 報告年における排出量総量(スコープ1+2)は前年と比較してどのように変化しましたか。

C7.9で[増加]/[減少]/
[変化なし]

C7.9a 総排出量(スコープ1と2の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示します。

C7.9b C7.9およびC7.9aの排出量実績計算は、ロケーション基準のスコープ2排出量値もしくはマーケット基準のスコープ2排出量値のどちらに基づいていますか。

C7.9で[今回が初めての報告年で、そのため昨年と比較できない]/[排出量データがない]

モジュール終了

C7.1 温室効果ガスの種類別のスコープ1排出量の内訳を示せますか。

Aレベル

- スコープ1のGHG別の内訳を示せる⇒[Yes]を選択 ⇒C7.1a
- スコープ1のGHG別の内訳を示せない⇒[No]を選択 ⇒C7.2へ
- スコープ1のGHG別の内訳について不明⇒[Unknown]を選択 ⇒C7.2へ

<該当する場合に報告する必要がある温室効果ガス>

- 二酸化炭素 (CO₂)
- メタン (CH₄)
- 亜酸化窒素 (N₂O)
- ハイドロフルオロカーボン (HFCs)
- パーフルオロカーボン (PFCs)
- 六フッ化硫黄 (SF₆)
- 三フッ化窒素 (NF₃)

該当する温室効果ガスがCO₂のみであり、
内訳がない場合には「No」をお選びください。



C7.1a スコープ1総排出量の内訳を温室効果ガスの種類ごとに回答し、使用した各地球温暖化係数(GWP)の出典も記入してください。

※C7.1で[Yes] を選択

Greenhouse gas	Scope 1 emissions (metric tons in CO ₂ e)	GWP Reference
Select from: <ul style="list-style-type: none"> • CO₂ • CH₄ • N₂O • HFCs • PFCs • SF₆ • NF₃ • Other, please specify 	Numerical field [enter a range of 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Select from: <ul style="list-style-type: none"> • IPCC Fifth Assessment Report (AR5 - 100 year) • IPCC Fourth Assessment Report (AR4 - 100 year) • IPCC Third Assessment Report (TAR - 100 year) • IPCC Second Assessment Report (SAR - 100 year) • IPCC Fourth Assessment Report (AR4 - 50 year)

[Add Row]

各行のこの欄を合計した値が、
C6.1で回答した数値と±5%以内の差で一致
(Aレベル)

全ての欄を回答してください。



C7.1a スコープ1総排出量の内訳を温室効果ガスの種類ごとに回答し、使用した各地球温暖化係数(GWP)の出典も記入してください。

※C7.1で[Yes] を選択

Greenhouse gas	Scope 1 emissions (metric tons in CO ₂ e)	GWP Reference
Select from: <ul style="list-style-type: none"> • CO₂ • CH₄ • N₂O • HFCs • PFCs • SF₆ • NF₃ • Other, please specify 	Numerical field [enter a range of 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Select from: <ul style="list-style-type: none"> • IPCC Fifth Assessment Report (AR5 – 100 year) • IPCC Fourth Assessment Report (AR4 – 100 year) • IPCC Third Assessment Report (TAR – 100 year) • IPCC Second Assessment Report (SAR – 100 year) • IPCC Fourth Assessment Report (AR4 – 50 year)

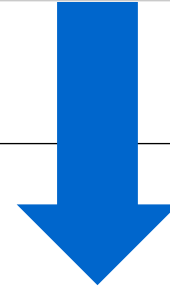
- 日本の地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）の地球温暖化係数に基づいて算定されている場合は、「IPCC第4次評価報告書(AR4 – 100年値)」をお選びください。[\(リンク\)](#)
- 地球温暖化係数はIPCCにより数年に一度見直されており、現時点での最新の係数は「IPCC第5次評価報告書(AR5 – 100年値)」に記載のものととなります。
- CDPでは最新の科学に基づいた地球温暖化係数の使用を推奨しております。古い係数を使用されている場合には、ぜひ見直しをご検討ください。

C7.2 スコープ1総排出量の内訳を国別／地域別で回答してください。



Country/Region	Scope 1 emissions (metric tons CO ₂ e)
Select from a drop-down list of countries and regions. Please see the Technical Note " Country and Regions " for details around the available regions and their constituent countries.	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]

[Add Row]



全ての欄を回答してください。

各行のこの欄を合計した値が、
C6.1で回答した数値と±5%以内の差で一致
(Aレベル)

C7.3 スコープ1排出量の内訳として、その他に回答可能な分類方法を回答してください。

- 事業部門別に回答⇒[By business division]を選択 ⇒C7.3a
- 施設別に回答⇒[By facility]を選択 ⇒C7.3bへ
- 活動別に回答⇒[By activity]を選択 ⇒C7.3cへ

複数選択可
最低1つは回答してください

【事業部門別】

有価証券報告書などで使用している事業部門（セグメント）を使用してください。

【施設別】

一つの施設には、複数の事業活動や複数の排出源が含まれている可能性があります。

（例：ガス製造、製油所、石炭採掘、製鉄所、セメント工場、オフィス等）

【活動別】

例えばエネルギー生成、移動/運送、事務所活動等で分けることができます。一つの活動は、複数の事業部門、国、または施設にわたっていることがあります。

C7.3a 事業部門別のスコープ1全世界総排出量の内訳を示します。

※C7.3で[By business division] を選択

Business division	Scope 1 emissions (metric tons CO ₂ e)
Text field [maximum 500 characters]	Numerical field [enter a range of 0- 999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]

[Add Row]

全ての欄を回答してください。



各行のこの欄を合計した値が、
C6.1で回答した数値と±5%以内の差で一致
(Aレベル)



C7.3b 施設別のスコープ1全世界総排出量の内訳を示します。

※C7.3で[By facility] を選択

Facility	Scope 1 emissions (metric tons CO ₂ e)	Latitude	Longitude
Text field [maximum 500 characters]	Numerical field [enter a range of 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Enter the latitude of your facility here using numbers between 90.000000 and -90.000000, e.g. 51.524810	Enter the longitude of your facility using numbers between 180.000000 and -180.000000, e.g. -0.106958

[Add Row]



全ての欄を回答してください。

各行のこの欄を合計した値が、
C6.1で回答した数値と±5%以内の差で一致
(Aレベル)

C7.3c 活動別のスコープ1全世界総排出量の内訳を示します。

※C7.3で[By activity] を選択

Activity	Scope 1 emissions (metric tons CO ₂ e)
Text field [maximum 500 characters]	Numerical field [enter a range of 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]

[Add Row]

全ての欄を回答してください。



各行のこの欄を合計した値が、
C6.1で回答した数値と±5%以内の差で一致
(Aレベル)

C7.5 スコープ2総排出量の内訳を国別／地域別で回答してください。



Country/Region	Scope 2, location-based (metric tons CO ₂ e)	Scope 2, market-based (metric tons CO ₂ e)	Purchased and consumed electricity, heat, steam or cooling (MWh)	Purchased and consumed low-carbon electricity, heat, steam or cooling accounted for in Scope 2 market-based approach (MWh)
Select from a drop-down list of countries and regions. Please see the Technical Note “Country and Regions” , for details around the available regions and their constituent countries.	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number of 0- 999,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number of 0- 999,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]

[Add Row]

ロケーション基準またはマーケット基準を含めてその他の列をすべて回答してください

各行のこの欄を合計した値が、
C6.3で回答した数値と±5%以内の差で一致
(Aレベル)

C7.5 スコープ2総排出量の内訳を国別／地域別で回答してください。



Country/Region	Scope 2, location-based (metric tons CO ₂ e)	Scope 2, market-based (metric tons CO ₂ e)	Purchased and consumed electricity, heat, steam or cooling (MWh)	Purchased and consumed low-carbon electricity, heat, steam or cooling accounted for in Scope 2 market-based approach (MWh)
Select from a drop-down list of countries and regions. Please see the Technical Note " Country and Regions ", for details around the available regions and their constituent countries.	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number of 0- 999,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number of 0- 999,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]

- ▼ 5列目では、マーケット基準によるスコープ2の算定において、ゼロ排出係数を使用した低炭素エネルギー(電力/熱/蒸気/冷却)の購入し消費した量についてご回答ください。
- ▼ 低炭素エネルギーとしては、炭素回収・貯留装置（**CCS**）を備えた化石燃料発電所や原子力発電所で作られたエネルギーや再生可能エネルギーが想定されています。低炭素エネルギーの場合、再エネのみには限定されていないという点にご留意ください。なお、天然ガス、ガスタービン複合発電、コージェネレーションは、石炭のような他の発電手段に比べて二酸化炭素の排出量が少ないですが、低炭素エネルギーには該当しません。
- ▼ マーケット基準でスコープ2を算定していない場合には、こちらの欄（5列目）は「0」とご入力ください。

C7.6 スコープ2排出量の内訳として、その他に回答可能な分類方法を回答してください。

- 事業部門別に回答⇒[By business division]を選択 ⇒C7.6a
- 施設別に回答⇒[By facility]を選択 ⇒C7.6bへ
- 活動別に回答⇒[By activity]を選択 ⇒C7.6cへ

複数選択可
最低1つは回答してください

【事業部門別】

有価証券報告書などで使用している事業部門（セグメント）を使用してください。

【施設別】

一つの施設には、複数の事業活動や複数の排出源が含まれている可能性があります。

（例：ガス製造、製油所、石炭採掘、製鉄所、セメント工場、オフィス等）

【活動別】

一つの活動は、複数の事業部門、国、または施設にわたっていることがあります。

C7.6a 事業部門別のスコープ2全世界総排出量の内訳を示します。

※C7.6で[By business division] を選択

Business division	Scope 2, location-based (metric tons CO ₂ e)	Scope 2, market-based (metric tons CO ₂ e)
Text field [500 maximum characters]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]

[Add Row]

ロケーション基準または
マーケット基準を含めてそ
の他の列をすべて回答して
ください

各行のこの欄を合計した値が、
C6.3で回答した数値と±5%以内の差で一致
(Aレベル)

C7.6b 施設部門別のスコープ2全世界総排出量の内訳を示します。

※C7.6で[By facility] を選択

Facility	Scope 2, location-based (metric tons CO ₂ e)	Scope 2, market-based (metric tons CO ₂ e)
Text field [maximum 500 characters]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]

[Add Row]

ロケーション基準または
マーケット基準を含めてそ
の他の列をすべて回答して
ください

各行のこの欄を合計した値が、
C6.3で回答した数値と±5%以内の差で一致
(Aレベル)

C7.6c 活動別のスコープ2全世界総排出量の内訳を示します。

※C7.6で[By activity] を選択

Activity	Scope 2, location-based (metric tons CO ₂ e)	Scope 2, market-based (metric tons CO ₂ e)
Text field [maximum 500 characters]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-99,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]

[Add Row]

ロケーション基準または
マーケット基準を含めてそ
の他の列をすべて回答して
ください

各行のこの欄を合計した値が、
C6.3で回答した数値と±5%以内の差で一致
(Aレベル)

C7.9 報告年における排出量総量(スコープ1+2)は前年と比較してどのように変化しましたか。

Aレベル

- 前年から増加している⇒[Increased] を選択 ⇒C7.9a
- 前年から減少している⇒[Decreased] を選択 ⇒C7.9a
- 前年と変化していない⇒[Remained the same overall] を選択 ⇒C7.9a
- 今年から排出量の算定を開始したため、前年との比較ができない
⇒[This is our first year of reporting, so we cannot compare to last year]
を選択
- 排出量データがなく、比較できない
⇒[We don't have any emissions data] を選択



C7.9a 総排出量(スコープ1と2の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示します。

※C7.9で[Increased]/[Decreased]/[Remained the same overall] を選択

①変化の要因	②排出量変化量	③変化の増減	④変化の割合 (%)	⑤計算を説明
Change in renewable energy consumption	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 3 decimal places and no commas]	Select from: <ul style="list-style-type: none">IncreasedDecreasedNo change	Numerical field [enter a number from 0-999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]
Other emissions reduction activities				両方の行を回答 (Mレベル)
Divestment				
Acquisitions				
Mergers				
Change in output				
Change in methodology				
Change in boundary				
Change in physical operating conditions				
Unidentified				
Other				いずれかの行で全ての欄を回答 (Aレベル)

該当しない行については空欄で結構です。

C7.9a 総排出量(スコープ1と2の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示します。

※C7.9で[Increased]/[Decreased]/[Remained the same overall] を選択

①変化の要因

- 再生可能エネルギー消費の変化
/Change in renewable energy consumption
自家発電または購入した再生可能エネルギーの消費による排出量の変化を報告してください。再生可能エネルギーの利用がある場合、C6.3ではマーケット基準のスコープ2の数値に考慮した再生可能エネルギー購入量全体を書くことができますが、ここでは報告年における追加的な購入量となります。スコープ2ロケーション基準からスコープ2マーケット基準への算定方法の変更によるスコープ2排出量の変化は、本欄ではなく、[算定方法の変更]にて報告してください。
- その他の排出量削減活動/Other emissions reduction activities
これは、C4.3bで回答したような排出削減イニシアチブ・活動によるものです。
- 投資引き上げ/Divestment
事業の売却の結果として生じる変化のことを指します。
- 買収/Acquisitions
別の会社/子会社/施設の購入または取得の結果として生じる変化のことを指します。
- 合併/Mergers
企業合併の結果として生じる変化のことを指します。

※該当しない行については空欄で結構です。

C7.9a 総排出量(スコープ1と2の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示します。

※C7.9で[Increased]/[Decreased]/[Remained the same overall] を選択

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 生産量の変化/Change in output | <p>製品またはサービスの生産量の変化(増加または減少)の結果として生じる変化を指します。例えば本業の成長、事業拡張による追加施設の購入、世界的景気後退による販売低下、新製品の発表などによります。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 算定方法の変化/Change in methodology | <p>インベントリを算定する方法の修正のために生じる変化のことを指します。例えば、使用される排出係数の変更や算定プロトコルの変更です。低炭素エネルギーに関するスコープ2算定活動の変更の結果としてスコープ2排出量の数値を修正した企業はここで回答します。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> バウンダリ（境界）の変化/Change in boundary | <p>インベントリ算定に使用されるバウンダリの変化のことを指します。財務管理から業務管理への変更や前年に除外された施設をインベントリに組み込んだ場合、この選択肢が当てはまります。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 物理的操業条件の変化/Change in physical operating conditions | <p>企業が事業を行う方法に重大な影響を及ぼしますが、例えば、降雨の増加のための水力電気の生産の増加など、利用可能なその他の選択肢の下ではそれを算定することはできない天候の変化のことを指します。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 特定していない/Unidentified | <p>対前年比の変化の理由を特定できない場合に、この行を記入します。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> その他/Other | <p>変化について他の理由がある場合に、この行を記入します。この選択肢を使用した場合、[説明してください]の列に変化の理由の詳細を記入してください。</p> |

※該当しない行については空欄で結構です。

C7.9a 総排出量(スコープ1と2の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示します。

※C7.9で[Increased]/[Decreased]/[Remained the same overall] を選択

<ul style="list-style-type: none"> 生産量の変化/Change in output 	<p>新型コロナウイルスに起因する生産量の変化（マスクの増産 等）による排出量の増減はこちらの行での対象となります。その旨について5列目でご説明ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 算定方法の変化/Change in methodology 	<p>インベントリを算定する方法の修正のために生じる変化のことを指します。例えば、使用される排出係数の変更や算定プロトコルの変更です。低炭素エネルギーに関するスコープ2算定活動の変更の結果としてスコープ2排出量の数値を修正した企業はここで回答します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> バウンダリ（境界）の変化/Change in boundary 	<p>在宅勤務の推進に起因する排出量減については、一般的にこちらの行の対象となります。事業所でのエネルギー消費がバウンダリー外（従業員の自宅）に移動しているケースが想定されます。その旨について5列目でご説明ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 物理的操業条件の変化/Change in physical operating conditions 	<p>企業が事業を行う方法に重大な影響を及ぼしますが、例えば、降雨の増加のための水力電気の生産の増加など、利用可能なその他の選択肢の下ではそれを算定することはできない天候の変化のことを指します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 特定していない/Unidentified 	<p>対前年比の変化の理由を特定できない場合に、この行を記入します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> その他/Other 	<p>変化について他の理由がある場合に、この行を記入します。この選択肢を使用した場合、[説明してください]の列に変化の理由の詳細を記入してください。</p>

※該当しない行については空欄で結構です。

C7.9a 総排出量(スコープ1と2の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示します。

※C7.9で[Increased]/[Decreased]/[Remained the same overall] を選択

④変化の割合 (%)

$$\frac{\text{該当要因による排出変化量}}{\text{報告年の前年のスコープ1+2排出量}} \times 100$$

⑤計算の説明

計算結果の説明、その背景情報だけでなく、必ず計算式を、使用した数値も含めて記載してください。
スコアリングの中で、正しい計算式によって値がもとめられたことを確認しております。上記の計算式を算定に使用したことが明確にわかるようにご回答ください。

C7.9a 総排出量(スコープ1と2の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示します。

※C7.9で[Increased]/[Decreased]/[Remained the same overall] を選択

【回答例】

報告年のスコープ1+2排出量総量が、208 tCO₂e

報告年前年のスコープ1+2排出量総量が、200 tCO₂e

変化の要因が、①排出削減活動による減少（4 tCO₂e）、②生産量の変化による増加（12 tCO₂e）

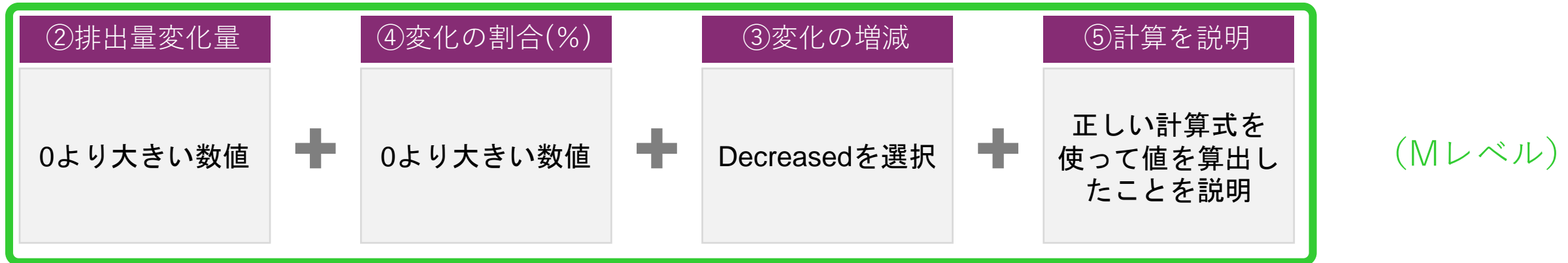
Reason	Change in emissions (metric tons CO ₂ e)	Direction of change	Emissions value (percentage)	Please explain calculation
Other emissions reduction activities	4	Decreased	2 4/200=2(%)	Due to 'other emissions reduction activities' implemented during the year, despite an increase in production, emissions have not grown as high as could be expected. Last year 4 tons of CO ₂ e were reduced by our emissions reduction projects, and our <u>total Scope 1 and Scope 2 emissions in the previous year was 200 tCO₂e</u> , therefore we arrived at -2% through <u>(-4/200) * 100= -2% (i.e. a 2% decrease in emissions)</u> .
Change in output	12	Increased	6 12/200=6(%)	If no measures had been introduced, increased demand leading to increase output would have generated an extra 6% more of emissions.

C7.9a 総排出量(スコープ1と2の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示します。

※C7.9で[Increased]/[Decreased]/[Remained the same overall] を選択

評価ルート(A) 一般的な企業

[再生可能エネルギー消費の変化]または[その他の排出量削減活動]の少なくとも一方の行において



評価ルート(B) 前年から既に排出量ゼロを達成している企業

[再生可能エネルギー消費の変化]及び[その他の排出量削減活動]の両方の行において



C7.9b C7.9およびC7.9aの排出量実績計算は、ロケーション基準のスコープ2排出量値もしくはマーケット基準のスコープ2排出量値のどちらに基づいていますか。

※C7.9で[Increased]/[Decreased]/[Remained the same overall] を選択

Aレベル

- ロケーション基準を使用⇒[Location-based] を選択
- マーケット基準を使用⇒[Market-based] を選択
- どちらを使用しているかわからない⇒[Don't know] を選択

C7 スコアリング基準 (1/3)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
7.1	いずれかの選択肢を選択している		1	[不明]以外を選択		1		0	0		0	0
7.1a ※7.1 でYes	全ての欄を記入した 行の数に比例して得 点を付与		1	各行の排出量を合計した値が、C6.1で回答した 数値と±5%以内の差で一致 -1点満点中1点 上記を満たしていない場合、3点満点中0点		1 or 3		0	0		0	0
7.2	全ての欄を記入した 行の数に比例して得 点を付与		4	各行の排出量を合計した値が、C6.1で回答した 数値と±5%以内の差で一致 -1点満点中1点 上記を満たしていない場合、3点満点中0点		1 or 3		0	0		0	0
7.3	いずれかの選択肢を選択している		1		0	0		0	0		0	0
7.3a ※7.3で 事業部 門別	全ての欄を記入した 行の数に比例して得 点を付与		4	各行の排出量を合計した値が、C6.1で回答した 数値と±5%以内の差で一致 -1点満点中1点 上記を満たしていない場合、3点満点中0点		1 or 3		0	0		0	0
7.3b ※7.3で 施設別	全ての欄を記入した 行の数に比例して得 点を付与		4	各行の排出量を合計した値が、C6.1で回答した 数値と±5%以内の差で一致 -1点満点中1点 上記を満たしていない場合、3点満点中0点		1 or 3		0	0		0	0
7.3c ※7.3で 活動別	全ての欄を記入した 行の数に比例して得 点を付与		4	各行の排出量を合計した値が、C6.1で回答した 数値と±5%以内の差で一致 -1点満点中1点 上記を満たしていない場合、3点満点中0点		1 or 3		0	0		0	0



C7 スコアリング基準 (2/3)

情報開示 (Dレベル)		得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
7.5	ロケーション基準またはマーケット基準の欄を記入した行で他の全ての欄を記入した行の数に比例して得点を付与		4	ロケーション基準またはマーケット基準の排出量を合計した値が、C6.3で回答した数値と±5%以内の差で一致 -1点満点中2点上記を満たしていない場合、6点満点中0点		2 or 6		0	0		0	0
7.6	いずれかの選択肢を選択している		1		0	0		0	0		0	0
7.6a ※7.6 で事業 部門別	ロケーション基準またはマーケット基準の欄を記入した行で他の全ての欄を記入した行の数に比例して得点を付与		4	各行の排出量を合計した値が、C6.3で回答した数値と±5%以内の差で一致 -1点満点中1点上記を満たしていない場合、3点満点中0点		1 or 3		0	0		0	0
7.6b ※7.6 で施設 別	ロケーション基準またはマーケット基準の欄を記入した行で他の全ての欄を記入した行の数に比例して得点を付与		4	各行の排出量を合計した値が、C6.3で回答した数値と±5%以内の差で一致 -1点満点中1点上記を満たしていない場合、3点満点中0点		1 or 3		0	0		0	0
7.6c ※7.6 で活動 別	ロケーション基準またはマーケット基準の欄を記入した行で他の全ての欄を記入した行の数に比例して得点を付与		4	各行の排出量を合計した値が、C6.3で回答した数値と±5%以内の差で一致 -1点満点中1点上記を満たしていない場合、3点満点中0点		1 or 3		0	0		0	0

C7 スコアリング基準 (3/3)



	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
7.9	いずれかの選択肢 を選択している		1	[排出量データがない]以外を選 択		1		0	0		0	0
7.9b	いずれかの選択肢 を選択している		1	[不明]以外を選択		1		0	0		0	0

C7 スコアリング基準 (3/3)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
7.9a ※7.9で増加/減少/変化なし	少なくとも1つ行で、[排出量変化量]、[変化の割合]、[変化の増減]、[計算を説明]をすべて回答		4	A) C7.9で[増加]または[減少]を選択 - [変化の割合]に数値を記入 - 1点 - [排出量変化量]に数値を記入 - 1点 - 1行以上ですべての項目を回答([特定していない]または[その他]以外の行) - 1点 B) C7.9で[変化なし]を選択 - [変化の増減]欄に関して、すべての行で[減少]を選択- 0点 - [変化の増減]欄に関して、すべての行で[増加]を選択- 0点 - その他の選択パターン - 3点	3		<u>認識スコアが満点</u> <u>[再生可能エネルギー消費量の変化]</u> と <u>[その他の排出量削減活動]</u> 両方の行をすべての列に対して回答しており、かつ、 <u>[変化の増減]欄で両方の行に対して[減少]または[変化なし]を選択</u> A) [その他の排出量削減活動]または[再生可能エネルギー消費量の変化]の行： - [排出量変化量]が0より大きい、 - [変化の割合]が0より大きい、 - [変化の増減]が[減少]、 - [変化の割合]欄の数値の算定に使用した計算式が、[排出量変化量]の数値と一致し、回答ガイダンスに記載のとおり [計算を説明]欄に回答を記入 - 5点 B) i) とii) の条件を満たした場合 5点 i) [その他の排出量削減活動]と[再生可能エネルギー消費量の変化]の行： - [排出量変化量]が0、 - [変化の割合]が0、 - [変化の増減]が[変化なし]、 - [計算を説明]欄になぜ[変化なし]であるのかの説明を記入 ii) C6.1とC6.3の[報告年]と[過年度1年目]の行で0を回答。	5		A) i) マネジメントスコアが満点-1点 ii) i) を満たした場合に、[再生可能エネルギー消費の変化]、または[その他の排出量削減活動]の行において、[変化の割合]に記入した値の合計が、次の値以上である： - 2.1% - 0.5点 - 4% - 1点 B) マネジメントレベルのB)ルートで満点を獲得 - 1点		2

C7 セクター別質問に関する注意

対象セクター	質問	質問内容・スコアリング
AC, FB, PF	C7.4, 7.4a-c	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
CE, MM, ST, TS	C7.4, 7.7	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
CH	C7.4, 7.7, 7.8, 7.8a	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
CG	C7.10, 7.10a	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
CO, OG	C7.1b, 7.4, 7.7	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
EU	C7.1b, 7.4	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
TO	C7.4, 7.7, 7.8	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です

詳細は、回答ガイダンスやスコアリング基準セクター別質問に記載のセクター別質問の項目をご覧ください。

C8 エネルギー／Energy

C8.1 報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものですか。

C8.2 御社がどのエネルギー関連活動を行ったか選択してください。

C8.2のいずれかで[はい]

C8.2の全てで[いいえ]

C8.2a 御社のエネルギー消費量合計(原料を除く)をMWh単位で報告してください。

C8.2の[燃料消費]で[はい]

C8.2の[電力、熱、蒸気、または冷却の生成]で[はい]

C6.2で[マーケット基準スコープ2を回答]

C8.2b 御社の燃料消費の用途を選択します。

C8.2d 御社が報告年に生成、消費した電力、熱、蒸気および冷水に関する詳細を記入します。

C8.2e C6.3で報告したマーケット基準スコープ2の数値において、ゼロ排出係数として計上した電力、熱、蒸気、および/または冷却量について詳細を記入します。

C8.2c 御社が消費した燃料の量(原料を除く)を燃料の種類別にMWh単位で記入します。

モジュール終了

標準的なメニュー内の低炭素エネルギー・再生可能エネルギー

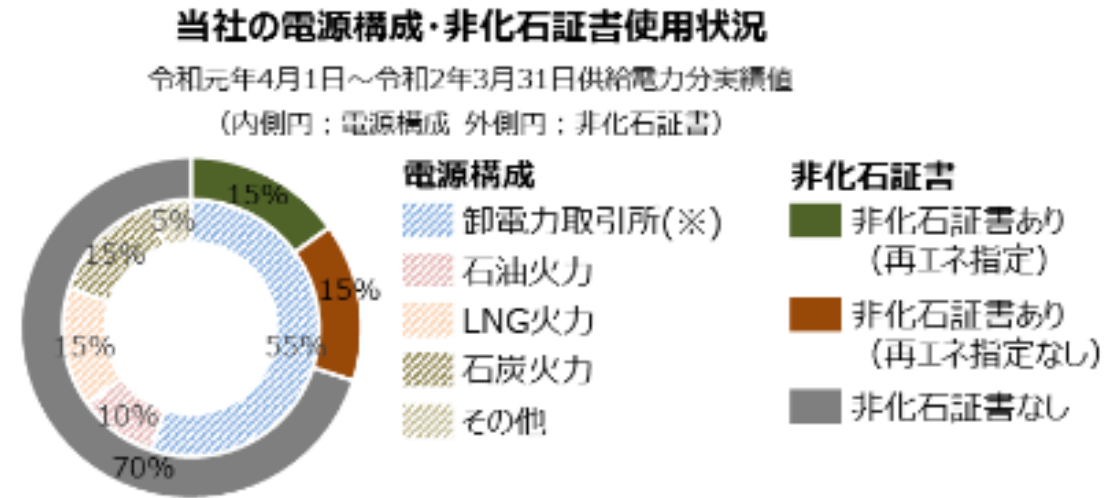


エネルギー供給会社が提供する「標準的なメニューに含まれる低炭素エネルギー」について、**エネルギー属性証明書で裏付けられている**分を、企業は調達し購入した低炭素エネルギーとして計上することができます。

近年の急速な再エネ市場の拡大しており、米国のRPSなど、一部の地域では特別に契約したメニューでなくても、高い割合で低炭素なエネルギーが含まれるようになってきております。

日本の場合は、残差メニューや、特に低炭素メニューを設定していない小売からの購入している電気の内、FIT・非FITに関わらず**非化石証書**によって担保されている分について、計上可能です。

何%が非化石証書によって担保されているのかは、契約されているサプライヤーにご確認ください。



出典：経産省「電力の小売営業に関する指針」 ([リンク](#))

C8.1 報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものですか。



【回答選択肢】

Aレベル

- 0%
- More than 0% but less than or equal to 5%
- More than 5% but less than or equal to 10%
- More than 10% but less than or equal to 15%
- More than 15% but less than or equal to 20%
- More than 20% but less than or equal to 25%
- More than 25% but less than or equal to 30%
- More than 30% but less than or equal to 35%
- More than 35% but less than or equal to 40%
- More than 40% but less than or equal to 45%
- More than 45% but less than or equal to 50%
- More than 50% but less than or equal to 55%
- More than 55% but less than or equal to 60%
- More than 60% but less than or equal to 65%
- More than 65% but less than or equal to 70%
- More than 70% but less than or equal to 75%
- More than 75% but less than or equal to 80%
- More than 80% but less than or equal to 85%
- More than 85% but less than or equal to 90%
- More than 90% but less than or equal to 95%
- More than 95% but less than or equal to 100%
- Don't know

事業支出はバウンダリ（境界）を一致させてください。
収益に対して掛けられる税金や利息は含まないでください。

C8.2 御社がどのエネルギー関連活動を行ったか選択してください。



Activity	Indicate whether your organization undertook this energy-related activity in the reporting year
Consumption of fuel (excluding feedstocks)	Select from: <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No
Consumption of purchased or acquired electricity	
Consumption of purchased or acquired heat	
Consumption of purchased or acquired steam	
Consumption of purchased or acquired cooling	
Generation of electricity, heat, steam, or cooling	

- 燃料の消費(原料を除く)
/Consumption of fuel (excluding feedstocks)

報告年でバウンダリ内で燃料を消費した場合、[はい]を選択してください。スコープ1排出量(C6.1)と生物起源炭素(C6.7a)の算定の根拠となるすべての燃料が対象です。エネルギー取得を目的とせず、原料として消費された燃料については含まれません。
- 購入または獲得した電力、熱、蒸気、冷却の消費/Consumption of purchased or acquired electricity, heat, steam and/or cooling

購入または獲得した（＝バウンダリの中に持ち込んだ）電力、熱、蒸気、冷却を御社が消費した場合、2～5番目の行の該当箇所で[はい]を選択してください。これには、バウンダリ内で生成された電力、熱、蒸気、冷却の消費は含まれません。また、バウンダリ内で消費されない購入または獲得した電力、熱、蒸気、冷却も除きます。
- 電力、熱、蒸気、または冷却の生成
/Generation of electricity, heat, steam, or cooling

報告年に電力、熱、蒸気、または冷却を生成した場合は、それを消費、輸出、廃棄したかにかかわらず、[はい]を選択してください。

C8.2a 御社のエネルギー消費量合計(原料を除く)をMWh単位で報告してください。

※C8.2のいずれかで[Yes]を選択

Activity	②高位／低位発熱量	③再エネ量(MWh)	④非再エネ量(MWh)	⑤合計量(MWh)
Consumption of fuel (excluding feedstock)	Select from: <ul style="list-style-type: none"> LHV (lower heating value) HHV (higher heating value) Unable to confirm heating value 	Numerical field [enter a number from 0 to 9,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 9,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 9,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas] ③再エネ量 + ④非再エネ量
Consumption of purchased or acquired electricity	N/A			
Consumption of purchased or acquired heat	N/A			
Consumption of purchased or acquired steam	N/A			
Consumption of purchased or acquired cooling	N/A			
Consumption of self-generated non-fuel renewable energy	N/A		N/A	
Total energy consumption	N/A	A		B

【Aレベル】

消費がないものについては0を記入してください。
(空欄を残さないようにしてください)

【Mレベル】

A/B ≥ 10% - 1点

A/B ≥ 25% - 2点

【Lレベル】

A/B ≥ 50% - 1点

A/B ≥ 75% - 1.5点

A/B ≥ 99% - 2点

C8.2で[Yes]と回答したものについて、
回答欄が表示されます。
[Total energy consumption]は常に表示
されます。



C8.2a 御社のエネルギー消費量合計(原料を除く)をMWh単位で報告してください。

※C8.2のいずれかで[Yes] を選択

Activity	②高位／低位発熱量	③再エネ量(MWh)	④非再エネ量(MWh)	⑤合計量(MWh)
Consumption of fuel (excluding feedstock)	Select from: <ul style="list-style-type: none">• LH• HH• Unvalue	Numerical field [enter a number from	Numerical field [enter a number from	Numerical field [enter a number from
Consumption of purchased or acquired electricity	N/A			
Consumption of purchased or acquired heat	N/A			
Consumption of purchased or acquired steam	N/A			
Consumption of purchased or acquired cooling	N/A			
Consumption of self-generated non-fuel renewable energy	N/A			
Total energy consumption	N/A			

• 事業活動(Activity)で、「購入または獲得した～(purchased or acquired)」となっている行については、C8.2と同様、バウンダリの中に外部から持ちこまれたものを指しており、バウンダリ内で生成されたものはこれらの行には含まれませんのでご注意ください。

• 2列目の「発熱量」については、「燃料消費量」の行のみに適用されます。高位発熱量(HHV)は総発熱量(GCV)の別名でも知られ、低位発熱量(LHV)は真発熱量(NCV)の別名でも知られます。HHVは燃焼による水蒸気の潜熱を含むため、LHVより高い熱量となります。自社ではどちらの発熱量が算定に使われているのかご確認ください。

C8.2a 御社のエネルギー消費量合計(原料を除く)をMWh単位で報告してください。

※C8.2のいずれかで[Yes]を選択



Activity	②高位／低位発熱量	③再エネ量(MWh)	④非再エネ量(MWh)	⑤合計量(MWh)
Consumption of fuel (excluding feedstocks)	Select from:	Numerical field [enter a number from	Numerical field [enter a number from	Numerical field [enter a number from

- 3列目の焦点になるのは「再生可能エネルギー」に由来するエネルギー消費量となります。低炭素エネルギーではないことにご留意ください。CDPではGHGプロトコルに従い、再生可能エネルギーは枯渇しないエネルギー源から創出されたエネルギーであり、風力、太陽光、水力、地熱、バイオマス、海洋(潮流や波エネルギー)に由来するものと位置付けています。原子力に由来する購買エネルギーの消費については、3列目ではなく4列目の「非再エネ量」の欄でご回答ください。
- 購入した再生可能エネルギーの消費量として、標準的なメニューに含まれる再エネ分についても、エネルギー属性証書によって裏付けられている分については、含めていただくことができます。日本の場合には残差メニューや、特に再エネメニューを設定していない小売から購入している電力の内、再エネ指定の非化石証書によって担保されている分について計上可能です。何%が再エネ指定の非化石証書によって担保されているのかは、契約されているサプライヤーにご確認ください。

- 3列目の焦点になるのは「再生可能エネルギー」に由来するエネルギー消費量となります。低炭素エネルギーではないことにご留意ください。CDPではGHGプロトコルに従い、再生可能エネルギーは枯渇しないエネルギー源から創出されたエネルギーであり、風力、太陽光、水力、地熱、バイオマス、海洋(潮流や波エネルギー)に由来するものと位置付けています。原子力に由来する購買エネルギーの消費については、3列目ではなく4列目の「非再エネ量」の欄でご回答ください。
- 購入した再生可能エネルギーの消費量として、標準的なメニューに含まれる再エネ分についても、エネルギー属性証書によって裏付けられている分については、含めていただくことができます。日本の場合には残差メニューや、特に再エネメニューを設定していない小売から購入している電力の内、再エネ指定の非化石証書によって担保されている分について計上可能です。何%が再エネ指定の非化石証書によって担保されているのかは、契約されているサプライヤーにご確認ください。なお、非化石証書には「再エネ指定」と「指定なし」のものがございますのでご注意ください。



C8.2a 御社のエネルギー消費量合計(原料を除く)をMWh単位で報告してください。

※C8.2のいずれかで[Yes]を選択

【エネルギー量（MWh）の計算方法例】

燃料消費量

↓

ガソリン
1キロリットル

×

発熱量

↓

34.6 GJ/kl

×

MWhへの換算

↓

1GJ=0.277778 MWh

➡

9.61 MWh

別表1 燃料種別の発熱量

燃料種		単位	値
固体燃料	原料炭	GJ/t	29.0
	一般炭	GJ/t	25.7
	無煙炭	GJ/t	26.9
	コークス	GJ/t	29.4
	石油コークス	GJ/t	29.9
	練炭又は豆炭	GJ/t	23.9
	木材	GJ/t	14.4
	木炭	GJ/t	30.5
	その他の固体燃料	GJ/t	33.1
液体燃料	コールタール	GJ/t	37.3
	石油アスファルト	GJ/t	40.9
	コンデンセート(NGL)	GJ/kl	35.3
	原油(コンデンセート(NGL)を除く。)	GJ/kl	38.2
	ガソリン	GJ/kl	34.6

C8.2b 御社の燃料消費の用途を選択します。

※C8.2の[燃料の消費]で[Yes]を選択

Fuel application	Indicate whether your organization undertakes this fuel application
Consumption of fuel for the generation of electricity	<p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Yes • No
Consumption of fuel for the generation of heat	
Consumption of fuel for the generation of steam	
Consumption of fuel for the generation of cooling	
Consumption of fuel for co-generation or tri-generation	

御社が生成した電力・熱・蒸気・冷却を消費するか、外部に提供するかに関わらず、御社が燃料を燃焼して電力・熱・蒸気・冷却を生成している場合、該当する欄で[はい]をご選択ください

輸送、産業プロセスの工場・機器などのために燃料を消費している場合は、[熱生成のための燃料の消費量]で[はい]をご選択ください。

コジェネレーションは、熱電併給(CHP)の別名でも知られています。トリジェネレーションは、冷却熱電併給(CCHP)の別名でも知られています。

C8.2c 御社が消費した燃料の量(原料を除く)を 燃料の種類別にMWh単位で記入します。

※C8.2の[燃料の消費]で[Yes]を選択

①燃料	②高位／低位発熱量	③社内で消費した燃料 (MWh)	④自家発電のために消費したエネルギー(MWh)
Select from: Acetylene; Agricultural Waste; Alternative Kiln Fuel (Wastes); Animal Fat; Animal/Bone Meal; Anthracite Coal; Asphalt; Aviation Gasoline; Bagasse; Bamboo; Basic Oxygen Furnace Gas (LD Gas); Biodiesel; Biodiesel Tallow; Biodiesel Waste Cooking Oil; Bioethanol; Biogas; Biogasoline; Biomass	Select from: <ul style="list-style-type: none"> LHV HHV Unable to confirm heating value 	Numerical field [enter a number from 0 to 9,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas] ④～⑧の合計	Numerical field [enter a number from 0 to 9,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]
⑤熱の自家生成のために消費したエネルギー(MWh)	⑥蒸気の自家生成のために消費したエネルギー(MWh)	⑦冷却の自家生成のために消費したエネルギー(MWh)	⑧社内でコージェネ・トリジェネのために消費したエネルギー(MWh)
Numerical field [enter a number from 0 to 9,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 9,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 9,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 9,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]
⑨排出係数	⑩排出係数単位	⑪排出係数出典	Comment
Numerical field [enter a number from 0 to 999,999 using up to 5 decimal places and no commas]	Select from: <ul style="list-style-type: none"> metric tons CO₂e per m3 	Text field [maximum 2,400 characters]	Text field [maximum 2,400 characters]

③の欄を合計した値が、C8.2aで回答した[Consumption of fuel (excluding feedstock)]の[合計量 (MWh)] (再エネ+非再エネ) の数値と±5%以内の差で一致 (Mレベル)

※ ④～⑧の列が現れるかは、C8.2bの回答によって変わります。必要に応じてC8.2bの回答を見直してください。

※C8.2の[燃料の消費]で[Yes]を選択

[\[Add Row\]](#)

C8.2d 御社が報告年に生成、消費した電力、熱、蒸気および冷水に関する詳細を記入します。

※C8.2の[電力、熱、蒸気、または冷却の生成]で[Yes]を選択

Energy Carrier	②総生成量(MWh)	③生成し、自社で消費した量(MWh)	④再エネによる生成量(MWh)	⑤再エネにより生成し、自社で消費した量(MWh)
Electricity	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]
Heat				
Steam				
Cooling				

生成がないものについては空欄にせず「0」を入力し、必ず表を完全に埋めてください。(Aレベル)

④再エネによる生成量が、②総生成量の25%以上 (Mレベル)

④再エネによる生成量が、②総生成量の50%以上 (Lレベル)



C8.2d 御社が報告年に生成、消費した電力、熱、蒸気および冷水に関する詳細を記入します。

※C8.2の[電力、熱、蒸気、または冷却の生成]で[Yes] を選択

Energy Carrier	②総生成量(MWh)	③生成し、自社で消費した量(MWh)	④再エネによる生成量(MWh)	⑤再エネにより生成し、自社で消費した量 (MWh)
Electricity	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]
Heat				
Steam				
Cooling				

再エネによる生成か否か

自社内で消費したか否か

	再エネ量※1	再エネ量 + 非再エネ量
自家消費量	⑤ 一番小さい値になります	③ ⑤以上②以下の値になります
自家消費量 + 自家消費でない量	④ ⑤以上②以下の値になります	② 一番大きい値になります

1. 再エネは枯渇しないエネルギー源から創出されたエネルギーであり、風力、太陽光、水力、地熱、バイオマス等に由来するものと位置付けています。

C8.2e C6.3で報告したマーケット基準スコープ2の数値において、ゼロ排出係数として計上した電力、熱、蒸気、および/または冷却量について詳細を記入します。

※C6.2で[マーケット基準スコープ2を回答]を選択

①調達方法	②低炭素技術	③低炭素電力、熱、蒸気、冷却を消費した国／地域	④ゼロ排出係数で算定される消費エネルギー量 (MWh)	Comment
<p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"> None (no purchases of low-carbon electricity, heat, steam or cooling) Power purchase agreement (PPA) with on-site/off-site generator owned by a third party with no grid transfers (direct line) Power purchase agreement (PPA) with a grid-connected generator with energy attribute certificates 	<p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"> Solar Wind Hydropower Nuclear Biomass Marine Geothermal Fossil-fuel plants fitted with CCS Low-carbon energy mix Other, please specify 	<p>Select from a drop-down list of countries and regions. Please see the Technical Note "Country and Regions", for details around the available regions and their constituent countries</p>	<p>Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]</p>	<p>Text field [maximum 2,400 characters]</p>

④の欄を合計した値が、C7.5で回答した[マーケット基準の算定の際に考慮した、低炭素電力、熱、蒸気、または冷却の購入量および消費量(MWh)]欄の数値と±10%以内の差で一致 (Aレベル)

④の欄を合計した値が、C7.5で回答した[購入または消費した電力、熱、蒸気、または冷却量(MWh)]の50%以上を占める (Mレベル)

C8.2e C6.3で報告したマーケット基準スコープ2の数値において、ゼロ排出係数として計上した電力、熱、蒸気、および/または冷却量について詳細を記入します。

※C6.2で[マーケット基準スコープ2を回答]を選択

①調達方法

低炭素電力、熱、蒸気、冷却は購入していない

None (no purchases of low-carbon electricity, heat, steam or cooling)

敷地内に設置した発電設備、敷地外であっても系統に繋がっていない他社保有の発電設備に関するPPA契約

Power purchase agreement (PPA) with on-site/off-site generator owned by a third party with no grid transfers (direct line)

系統につながっている発電設備とのPPAであり、エネルギー属性証書によって裏打ちされている

Power purchase agreement (PPA) with a grid-connected generator with energy attribute certificates

系統につながっている発電設備とのPPAであり、エネルギー属性証書によって裏打ちされていない

Power purchase agreement (PPA) with a grid-connected generator without energy attribute certificates

エネルギー供給事業者からのグリーン電力で、エネルギー属性証書によって裏打ちされている

Green electricity products (e.g. green tariffs) from an energy supplier, supported by energy attribute certificates

エネルギー供給事業者からのグリーン電力で、エネルギー属性証書によって裏打ちされていない

Green electricity products (e.g. green tariffs) from an energy supplier, not supported by energy attribute certificates

系統につながず屋根に設置した太陽光等であるが、他社が運営し、小売り電気電力として販売しているもの。系統接続し、FIT売電しているものは含まれない。また、環境価値を保持していない自家消費も含まれない

FIT電力に非化石価値証書を買戻した場合

契約電力会社の「電源構成」のうち、FIT電力ではない再生可能エネルギー分

C8.2e C6.3で報告したマーケット基準スコープ2の数値において、ゼロ排出係数として計上した電力、熱、蒸気、および/または冷却量について詳細を記入します。

※C6.2で[マーケット基準スコープ2を回答]を選択

①調達方法

エネルギー属性証明書で裏付けされたエネルギーサプライヤーによる標準的なメニュー

Standard product offering by an energy supplier supported by energy attribute certificates

単体のエネルギー属性証書、発電源証明 (GoO)

Unbundled energy attribute certificates, Guarantees of Origin

単体のエネルギー属性証書、発電源証明 (RECs)

Unbundled energy attribute certificates, Renewable Energy Certificates (RECs)

単体のエネルギー属性証書、発電源証明 (I-RECs)

Unbundled energy attribute certificates, International REC Standard (I-RECs)

単体のエネルギー属性証書、発電源証明 (その他)

Unbundled energy attribute certificates, other - please specify

熱/蒸気/冷却の供給契約

Heat/steam/cooling supply agreement

残差メニューや、特に低炭素メニューを設定していない小売からの購入している電力の内、非化石証書によって裏付けられるもの。何%が非化石証書で担保されているのかは、サプライヤーにご確認ください。

グリーン電力証書、J-クレジット(再エネ)、FIT電力以外に非化石価値証書を付けたもの

C8.2e C6.3で報告したマーケット基準スコープ2の数値において、ゼロ排出係数として計上した電力、熱、蒸気、および/または冷却量について詳細を記入します。



※C6.2で[マーケット基準スコープ2を回答]を選択

事例①

Q：自社保有の屋根置きソーラーがあります。これはここで記載できますか？

A：できません。C8.2aの非燃料再エネ発電の自家消費欄に記載ください。

事例③

Q：〇〇社が設置し、運用している屋根置きソーラーがあります。これは、余剰分のみFIT売電して、差し引きの料金を、電気料金として請求されています。これは記載できますか？

A：できません。ただし、自家消費分のみ、C8.2aの非燃料再エネ発電の自家消費欄に記載いただけます。

事例②

Q：〇〇社が設置し、運用している屋根置きソーラーがあります。これは全量FIT売電していて、差し引きの料金を、電気料金として請求されています。これは記載できますか？

A：できません。ただし、〇〇社が、御社のために非化石価値証書を買戻したりしている場合は計上できます。（4つ目の選択肢）

事例④

Q：地域の旧一般電力会社である〇EPCOから電力をずっと買っています。〇EPCO社も再エネの導入を進めているようです。〇EPCO社の電源構成にある風力（全量FIT売電）については、計上できますか？

A：非化石証書によって裏付けられている分については計上可能です。何%が非化石証書を使用しているのかは、サプライヤーにご確認ください。

C8.2e C6.3で報告したマーケット基準スコープ2の数値において、ゼロ排出係数として計上した電力、熱、蒸気、および/または冷却量について詳細を記入します。

※C6.2で[マーケット基準スコープ2を回答]を選択

②低炭素技術

IEAの定義に沿って、低炭素技術は、運転時に低いまたはゼロの温室効果ガス排出であるものとしている。発電部門については、CCSが備わった化石燃料発電プラント、原子力発電、再エネ発電技術を含みます。

低炭素エネルギー技術		
再エネ以外	再エネ技術	
<ul style="list-style-type: none"> CCSを備えた化石燃料プラント 原子力 	•ソーラー	<ul style="list-style-type: none"> •太陽熱・冷却 •太陽光発電 •太陽熱発電(Solar CSP)
	•風力	•風力
	•水力	•水力
	•地熱	•地熱
	•バイオマス	<ul style="list-style-type: none"> •固形バイオマス •バイオガス •液体バイオ燃料
	•海洋	<ul style="list-style-type: none"> •潮力 •波力

※C7.5とC8.2eについては、再エネ以外の低炭素エネルギーも対象となっており、回答に含めることができます。

C8 スコアリング基準 (1/2)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
8.1	いずれかの選択肢を選択している		1	[不明]以外を選択		1		0	0		0	0
8.2	回答した行につきそれぞれ1点- 1点×6		6		0	0		0	0		0	0
8.2a ※8.2のいずれかで Yes	回答した行の数と、セルの数に比例して得点を付与		6	すべて記入した行の数に比例して得点を付与		3	<u>認識スコアが満点</u> [総エネルギー消費量]の ・ 10%以上が再エネ-1点 ・ 25%以上が再エネ-2点		2	<u>マネジメントスコアが満点</u> [総エネルギー消費量]の ・ 50%以上が再エネ-1点 ・ 75%以上が再エネ-1.5点 ・ 99%以上が再エネ-2点		2
8.2b ※8.2の燃料消費で Yes	回答した行につきそれぞれ1点- 1点×5		5		0	0		0	0		0	0
8.2c ※8.2の燃料消費で Yes	全ての欄を記入した行の数に比例して得点を付与		4		0	0	[社内で消費した燃料]の欄を合計した値が、C8.2aで回答した[Consumption of fuel (excluding feedstock)]の[合計量(MWh)](再エネ+非再エネ)の数値と±5%以内の差で一致 - 1点満点中1点 一致しない場合、3点満点中0点		1 or 3		0	0

C8 スコアリング基準 (2/2)

	情報開示 (Dレベル)	得点	配点	認識 (Aレベル)	得点	配点	マネジメント (Mレベル)	得点	配点	リーダーシップ (Lレベル)	得点	配点
8.2d ※8.2の電力、熱、蒸気、または冷却の生成でYes	全欄を回答している行が1行ある		4	表の全欄を回答		1	<u>認識スコアが満点</u> 再エネによる生成量が、総生成量の25%以上- 1点		1	<u>マネジメントスコアが満点</u> 再エネによる生成量が、総生成量の50%以上- 1点		1
8.2e ※C6.2でマーケット基準スコップ2を回答	A)[なし]を選択 -4点 B)[なし]以外を選択 コメント欄以外の欄への回答につき1点×4		4	A)[なし]を選択 -4点満点中0点 B)[なし]以外を選択 [エネルギー量]欄の合計が、C7.5の[マーケット基準の算定の際に考慮した、低炭素電力、熱、蒸気、または冷却の購入量および消費量]欄の合計と誤差10%以内-2点満点中2点 C) [なし]以外を選択 [エネルギー量]欄の合計が、C7.5の[マーケット基準の算定の際に考慮した、低炭素電力、熱、蒸気、または冷却の購入量および消費量]欄の合計と誤差10%より大きい-4点満点中1点		2 or 4	<u>認識スコアが満点</u> [なし]以外を選択 [エネルギー量]欄の合計が、C7.5で回答した[購入または消費した電力、熱、蒸気、または冷却量(MWh)]の50%以上を占める- 1点		1	/		

設問間のクロスチェック (1/2)

開示データが正しいことを確認するため、スコアリングの中で設問間でデータの整合性が見られます。開示データに矛盾がないことをご確認ください。

データ1		データ2		許容される 差異
C7.1a	[スコープ1排出量...]欄の数値の合計	C6.1	[スコープ1全世界合計総排出量...]	5%
C7.2	[スコープ1排出量...]欄の数値の合計	C6.1	[スコープ1全世界合計総排出量...]	5%
C7.3a	[スコープ1排出量(CO2換算トン)]欄の数値の合計	C6.1	[スコープ1全世界合計総排出量...]	5%
C7.3b	[スコープ1排出量(CO2換算トン)]欄の数値の合計	C6.1	[スコープ1全世界合計総排出量...]	5%
C7.3c	[スコープ1排出量(CO2換算トン)]欄の数値の合計	C6.1	[スコープ1全世界合計総排出量...]	5%
C7.5	[スコープ2、ロケーション基準(CO2換算トン)]欄の数値の合計	C6.3	ロケーション基準全世界総排出量	5%
C7.5	[スコープ2、マーケット基準全世界総排出量(CO2換算トン)]欄の数値の合計	C6.3	スコープ2マーケット基準全世界総排出量	5%

設問間のクロスチェック (2/2)

開示データが正しいことを確認するため、スコアリングの中で設問間でデータの整合性が見られます。開示データに矛盾がないことをご確認ください。

データ1		データ2		許容される 差異
C7.6a	[スコープ2、ロケーション基準(CO2換算トン)]欄の数値の合計	C6.3	ロケーション基準全世界総排出量	5%
C7.6a	[スコープ2、マーケット基準(CO2換算トン)]欄の数値の合計	C6.3	スコープ2マーケット基準全世界総排出量	5%
C7.6b	[スコープ2、ロケーション基準(CO2換算トン)]欄の数値の合計	C6.3	スコープ2ロケーション基準全世界総排出量	5%
C7.6b	[スコープ2、マーケット基準(CO2換算トン)]欄の数値の合計	C6.3	スコープ2マーケット基準全世界総排出量	5%
C7.6c	[スコープ2、ロケーション基準(CO2換算トン)]欄の数値の合計	C6.3	スコープ2ロケーション基準全世界総排出量	5%
C7.6c	[スコープ2、マーケット基準(CO2換算トン)]欄の数値の合計	C6.3	スコープ2マーケット基準全世界総排出量	5%
C8.2c	[組織によって消費された総エネルギー量(MWh)]	C8.2a	[燃料の消費(原材料を除く)]行に対して[総エネルギー量(再生可能+非再生可能) MWh]欄に入力された数値	5%
C8.2e	[ゼロ排出係数時に算定された消費エネルギー量(MWh)]欄の合計	C7.5	[マーケット基準法において考慮した、低炭素の電力、熱、蒸気、または冷却を購入、消費した量(MWh)]欄の合計	10%

C8 セクター別質問に関する注意

対象セクター	質問	質問内容・スコアリング
CH	C8.2a, 8.2d, 8.3, 8.3a, b	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
CE	C8.2a, 8.2c, 8.2d	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
CG	C8.5, 8.5a	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
EU	C8.2a	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有のスコアリングです。
	C8.2d, 8.4, 8.4a	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
MM	C8.2a, 8.2d	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
ST	C8.2a, 8.2d, 8.3,	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
TO	C8.5	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です
TS	C8.2f, 8.5	<ul style="list-style-type: none"> セクター固有の質問です。 スコアリング対象の質問です

詳細は、回答ガイダンスやスコアリング基準セクター別質問に記載のセクター別質問の項目をご覧ください。



CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



一般적인お問い合わせ : japan@cdp.net

サプライチェーンに関するお問い合わせ : supplychain.japan@cdp.net

レポーターサービスに関するお問い合わせ : reporterservices.japan@cdp.net